

平成26年度第7回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成26年10月14日（月）11時00分～11時20分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長 古賀 実  
副学長 津曲 隆  
事務局長 岡本 哲夫  
文学部長 砂野 幸稔  
環境共生学部長 堤 裕昭  
総合管理学部長 黄 在南  
地域連携・研究推進センター長 松添 直隆  
学術情報メディアセンター長 半藤 英明  
文学研究科長 鈴木 元  
熊本県公立高等学校長会会長 宮崎 昭次  
オブザーバー：アドミニストレーション研究科長 荒木 紀代子  
欠席：熊本日日新聞社新聞博物館長 平野 有益  
昭和女子大学大学院特任教授 渡辺 満利子

事務局：高山事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、前田地  
域連携・研究推進センター長、野尻学術情報メディアセンター事務長、教務入試課阿蘇品班長、  
同課西本班長

1 開会（進行：高山次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

(1) 審議事項

① 平成27年度入学者選抜における合格者の決定について

1) 環境共生学部居住環境学科 自己推薦型入試

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「環境共生学部居住環境学科自己推薦型入試については、10月4日に試験を実施した。募集人員は4名。配点はプレゼンテーション及び質疑応答を含む面接で100点。志願者は18名で県内8名、県外10名、男性8名、女性10名。志願者全員が受験した。」との説明があり、続けて、堤環境共生学部長から、資料1-2に基づき、「上位4名を合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) 大学院文学研究科（秋季募集）入試

事務局教務入試課から、資料2-1に基づき、「文学研究科秋季募集については、日本語日本文学専攻、英語英米文学専攻ともに、9月27日に実施した。日本語日本文学専攻博士前期課程について、募集人員は、秋季募集3名。志願者1名、受験

者1名。志願者の選抜区分は、シニア特別選抜。英語英米文学専攻博士前期課程について、募集人員は、秋季募集3名。志願者2名、受験者2名。志願者の区分は、2名とも一般選抜。英語英米文学専攻博士後期課程について、募集人員は、秋季募集1名。志願者3名、受験者2名。」との説明があり、続けて鈴木文学研究科長から、資料2-2に基づき、「日本語日本文学専攻博士前期課程のシニア特別選抜は、受験者1名が総得点の6割以上であり、合格としたい。英語英米文学専攻博士前期課程の一般選抜は、受験者2名とも総得点の6割以上を満たしておらず、不合格としたい。英語英米文学専攻博士後期課程については、受験者2名が総得点の6割以上であり、合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

### 3) 大学院アドミニストレーション研究科（秋季募集）入試

事務局教務入試課から、資料3-1に基づき、「アドミニストレーション研究科（博士前期課程）秋季募集入試について、9月27日に実施した。募集人員は秋季・春季合わせて20名。4名が志願し、受験。志願者の内訳は、一般選抜が志願者2名、社会人特別選抜が2名。」との説明があり、続けて、荒木アドミニストレーション研究科長から、資料3-2に基づき、「博士前期課程の一般選抜受験の2名及び社会人特別選抜の受験者2名については、基準の6割を超えていたので合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## ② 教員の採用について

事務局総務課から、資料4-1に基づきこれまでの審査の経緯等について説明があった。

### 1) アメリカ文学・文化

砂野文学部長から、資料4-3に基づき、「アメリカ文学・文化採用人事について、公募に対して12名の応募があった。うち書類不備、専門分野不適合を除いた9名について、文学部内で選考手続きを進め、候補者を選定した。平成27年4月1日付けで講師として、採用していただきたい。」との説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である津曲委員より、「アメリカ文学・文化の採用予定者は、講師での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

### 2) 建築計画学

堤環境共生学部長から、資料4-4に基づき、「建築計画学採用人事について、公募に対して11名の応募があった。環境共生学部内で選考手続きを進め、候補者を選定した。平成27年4月1日付けで准教授として、採用していただきたい。」との説明があった。続いて、全学資格審査委員会議長である津曲委員より、「建築計画学の採用予定者は、准教授での採用が適当であると全学資格審査委員会において判定した。」との報告があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 特任准教授の任用について

地域連携・研究推進センター事務局から、資料５－１に基づき、「本年度から採択された文部科学省『地（知）の拠点整備事業（ＣＯＣ事業）』を本学において推進していくために設置するＣＯＣ推進室で、専門的な知識経験を有する者を採用したい。」との説明があった。続けて、松添地域連携・研究推進センター長から、資料５－２に基づき、「学内で選考手続きを進め、候補者を選定した。平成２６年度中、できるだけ早期に特任准教授として、採用していただきたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 平成２７年度一般入試における「理科」の得点採用科目について

事務局教務入試課から、資料６に基づき、「平成２７年度一般入試の大学入試センター試験の理科の得点採用科目について、本学の現在の決定内容では疑義が生じる可能性がある。大学入試センター試験の理科について、『基礎を付した科目から２科目』と『基礎を付していない１科目』（Ｃパターン：理科①から２科目＋理科②から１科目）で受験した者が、文学部の日本語日本文学科、英語英米文学科及び総合管理学部を受験する場合は、『基礎を付した科目から２科目』と『基礎を付していない科目から１科目』のうち、得点の高い方を教科の得点として採用することとし、公表済みの『平成２７年度熊本県立大学一般入試の実施教科、科目等について』を改める。」との報告があった。

② 教育職員の任期に関する規則の改正について

事務局総務課から、資料７に基づき、「改正労働契約法を踏まえた任期規則により、任期付き教員の任期を５年、再任を不可としているため、優れた評価を得た教員についても５年間しか雇用ができない状況となっていることから、教育職員の任期に関する規則を改正し、教育人材の質の確保を行えるようにする。」との報告があった。

③ 平成２５年度業務実績評価について

事務局企画調整室から、資料８に基づき、熊本県公立大学法人評価委員会から通知があった「平成２５年度公立大学法人熊本県立大学業務実績評価書」について、「大学の教育研究の質の向上」の部分を中心に報告があった。

4 その他

次回日程 平成２６年度第８回 １１月１７日（月）午後１時～ 本部棟２階大会議室

5 閉会